

郷土史・風俗

釈迦ヶ岳の山論

山は飲料水や灌漑用水の水源であり、柴山、炭山、萱山^{※1}、秣山^{※2}などと呼ばれ、生活の基盤となり、昔から一村共有のものとして大切に守られてきました。しかし、江戸時代になると林野の利害関係をめぐり、いくつかの村の間で争論と紛議が発生し、最終的には領主や幕府が裁定を下しました。

釈迦ヶ岳の南斜面の谷は須磨山と呼び、東側は焼合、尾高山は杉谷、柿、竹成が、北側の八風谷は田光、切畑、小島の7つの村が携わっていました。

以下に釈迦ヶ谷をめぐる山論の記録をまとめました。

- ▼元禄6年(1693年) 杉谷村と田光村
- ▼元禄13年(1700年) 伊勢と近江側の国境
- ▼元禄16年(1703年) 竹成村と杉谷、中脇、馬場村
- ▼享保16年(1731年) 小島村と田光、切畑村
- ▼安政6年(1859年) 竹成村と杉谷、中脇、馬場村



▲現在の釈迦ヶ岳

- ※1 萱山 屋根ぶき用の茅を刈り取る山
- ※2 秣山 肥料や飼料用の柴草類を刈り取る山

DATA 2月のデータ (2月末現在)

	件数	1月からの累計
火災発生	2	4
救急車出動	90	202
交通事故	8	18
急病	56	128
一般負傷	21	43
その他	5	13
救助出動	1	3
交通事故	83	165
物損事故	81	158
人身事故	2	7
死者	0	0
傷者	3	9

	数	増減
総人口	41,689人	+ 48人
男	20,660人	+ 29人
女	21,029人	+ 19人
総世帯数	16,858世帯	+ 53世帯



地域医療のために▶明治安田生命保険相互会社から 10万円
 社会福祉のために▶田光末申会から 16,724円▶匿名で5万円
 ▶匿名で3万円▶匿名で5万円▶薄井禮子さんから5万円



◀郷土村 MaaS「おでかけこもの」
 URL <https://www.kotsu.town.komono.mie.jp/>



◀郷土村ホームページ
 URL <http://www.town.komono.mie.jp/>
 *ホームページでは、広報こものを当紙と同じ体裁でご覧いただけます。

短歌 清流短歌教室

大寒の風の音きき朝湯する
 紅梅ほころびやがて立春
 十時半目白の集団立ちよりぬ
 カーテンあけて顔のほころぶ
 木の实なく餌を求める鳥たちは
 畑において冬を生きおり
 神風が火柱煽るとんど焼
 勢いつけて火の粉舞い散る
 たくさんの命をうばうコロナ菌
 地球の国々勢いて廻る
 歌わねばいつそ迷子のコハクチョウ
 二月の湖に影を濃くして

尾崎久美子	内田すえの	市川吉康	増田陽出美	平井光子	平林和江
-------	-------	------	-------	------	------

俳句 冬日句会 大橋霞丘選

朱太き大輪想ふ牡丹の芽
 【評】 去年の花と同じように今年も立派に咲いてくれるであろうかとの期待を込めて力強く芽吹きはじめた新芽を眺めつつ、牡丹の株へのにじむ愛着心が感じられます。
 老舗菓舗山笑ふてふ練菓子も
 杉の秀に春満月の影潤む
 春風に歩巾合はせて万歩計
 青麦にひとよさの雨青さらに
 白子千万のいのちの味深し
 虚子の忌や虚子に学びし日も遠く
 春潮に洗はれ海石まろみゆく
 植樹祭よりの歳月木々芽吹く

大橋霞丘	金津やよい	鈴木秋翠	南川恵津子	南川祐作	進士順子	奥崎富子	大橋踏青	諸岡さとの
------	-------	------	-------	------	------	------	------	-------

CALENDAR

1 木
2 金
3 土
4 日
5 月 休館日
6 火
7 水
8 木
9 金
10 土 14:00 ~ 楽しいおはなし会
11 日
12 月 休館日
13 火
14 水
15 木
16 金
17 土
18 日
19 月 休館日
20 火
21 水
22 木 15:30 ~ 英語のおはなし会
23 金 10:00 ~ 絵本読み聞かせ講座
24 土 14:00 ~ 楽しいおはなし会
25 日
26 月 休館日
27 火 休館日
28 水
29 木
30 金

展示「春のパンの本まつり 2021」
▶4月25日まで

としょかん 月刊 いんぷお
 荻野町図書館 開館時間 9:30-18:00
 TEL 391-1400 FAX 394-4433 http://www.town.komono.mie.jp/library

こどもの読書週間 「いっしょによもう、いっぱいよもう」

4月23日 ▶ 5月12日
 子どもに読書を勧めるだけでなく、大人も子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

展示「春のパンの本まつり 2021」
 ▶4月25日まで
 パンにまつわる本を集めました♪展示の本を借りると図書館特製しおりをプレゼント!

ボランティアのための絵本読み聞かせ講座

▶4月23日 10:00 ~ 11:30
 ※小さなお子さん連れの方向けに託児もありません。
 申込期間 4月1日 ▶▶ 4月15日

『旗振り山と航空灯台』
 ▶柴田昭彦 / 著
 ▶ナカニシヤ出版 (291/シ)
 米の相場は昔、物価の指標となっていました。江戸時代から大正時代には、見通しの良い山から山へと手旗信号で米の相場を迅速に遠方に伝達していました。本書は当時の史料を基に綿密な調査によって「旗振り山」を調査した記録です。四日市・津ルートの地図に孤野の記載があり、後世に伝えたい貴重な資料です。

『書医あづさの手控』
 ▶白戸満喜子 / 著
 ▶文学通信 (J913/シ)
 書物のお医者さんである書医を代々続ける家に生まれたあづさは双子の妹さくらとともに、修行に邁進していくという書誌学の小説です。巻末に書物の魅力を学ぶための「浅利先生の書誌学講座」が掲載されているので、先にこちらを一読してから読むことをおすすめします。

『自由帳みせて!』
 ▶すずきこうせい / 文・イラスト
 ▶小学生のみなさん / 絵
 自由帳は無地のノートです。絵や文字を自由に書き込むことができます。この本は小学生や小学生だった人々から100冊以上の自由帳を借りて作りました。「なんて書いてあるのかな」「どんな遊び方をしたのかな」友だちの自由帳をのぞき込むような気持ちで、想像をふくらませることができる楽しいイラスト中心の本です。

※おはなし会やギャラリー展示は新型コロナウイルス感染症の影響により中止(延期)とする場合があります。

